

第30回「議員と語りかい」報告書

4班 (No.1)

開催日	令和元年 5月 9日 (木) 午後7時 ~ 8時30分		
開催場所	霧島田口地区公民館		
団体名	田口地区自治公民館 狭名田地区自治公民館 栢野地区自治公民館	参加人員	11人 (男11人:女 0人)
出席議員	川窪 幸治、宮田 竜二、木野田 誠、新橋 実、植山 利博、前川原正人		
役割分担	班 長 (木野田 誠) 副班長 (植山 利博) 記録係 (川窪 幸治)		
テーマ及び具 体的な内容	・狭名田地区の現地視察を行い地域まちづくり計画書への要望・地域の抱える問題・行政の取り組み対応・生活保護について		

意見 交換 での 主な 意見 等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>◆まちづくり計画で、県道60号線の中村歯科前に横断歩道を設置してほしいと要望しているが、前に進まない。公安委員会がなかなか認可してくれない。安心安全な地域にしたいと考えている。</p> <p>◇警察のほうにも、機会があれば話をしていきたい。また、栢田から田口地区まで道路整備が決まり、このときが横断歩道を設置するチャンスでもあるので、これからも要望をしていきたい。</p> <p>◆生活保護の受給申請は簡単で、病院に入ったら若い人でももらえる。その後、元気になっても生活保護をもらいながら生活をしている。監督をするところはないのか。</p> <p>◇生活福祉課が監督しており、調査等により不正があった場合は厳正に対応している。</p> <p>◇生活保護が必要最低限度の生活ができる最後のセーフティネットになるため、その前の生活困窮者の自立支援をして生活保護の受給者を減らす取組も行っている。</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆現地を見てもらった狭名田地区の中山田道路には、5件の家があり公民館の側溝入口からは市道ではなく里道である。150mぐらい上部までは、市で管理をしてほしい。雨が降ると側溝が詰まって公民館が水浸しになってしまう。水がスムーズに流れるように対策をとってほしい。

◇枯葉や土砂の除去等すぐにできること、構造的なことでのどのような改修が可能か計画的にしなければならないことを含めて対応をするように、担当部局とも話しをしていきたい。

◆合併から10年くらいは、地域審議会が各地区にあり色々な意見を出していたのだが、その審議会がなくなり住民の声が市政に届いているのか不安である。聞いたところではまちづくり計画というものがあると教えていただいた。地域審議会に代わるものが必要だと思う。住民の意見が届く市政となってほしい。

意見交換での主な意見等

◇合併の時に10年間ということで地域審議会ができ、予算編成にも影響を与える重みのある組織であった。10年が経ち地域審議会はなくなったが、代わりとなる組織は自治会である。各地域でまちづくり計画を作成いただき、その計画に従って優先順位をつけて予算の範囲内で事業を行っていくようになっている。ただ、なかなか実現ができないということで、議会としても決算委員会等を通してしっかりと議論をしていかななくてはならないと考えている。

◆議会だよりの一般質問を充実してほしい。要点が書かれているが短縮されていて何が言いたいのか分からない。議論の中身が伝わるような記載の仕方をしてほしい。

◇たくさんの方の市民の皆様は、議会だよりを見ていただけるように広報広聴常任委員会で取り組んでいる。

◆合併後、霧島地区でも人口が1,000人近く減少し、地域から声をあげる若者もいない。均衡あるまちづくりのために、市民が合併して良かったと思えるような取組や活動をしてほしい。

◇合併すると良くなるといわれたが、一極集中になっているのが実情である。私たち議員もいろいろな問題を行政へもっていても「予算がない」といわれるが、平成30年度の見込みで3基金を合わせて157億円がある。この基金を有効活用し市民の皆さんの懐が暖まる施策を行うべきだと考えている。

◇声をあげる方がいないと言われたが、今からでも遅くはないので声をあげるべきである。各地域にはリーダー的な方々もおられますし、私たち議員をつかっていただいてもいいので、自分たちの住んでいる地域を注目してもらうためにも、自治会で頑張って大きな声をあげてほしい。